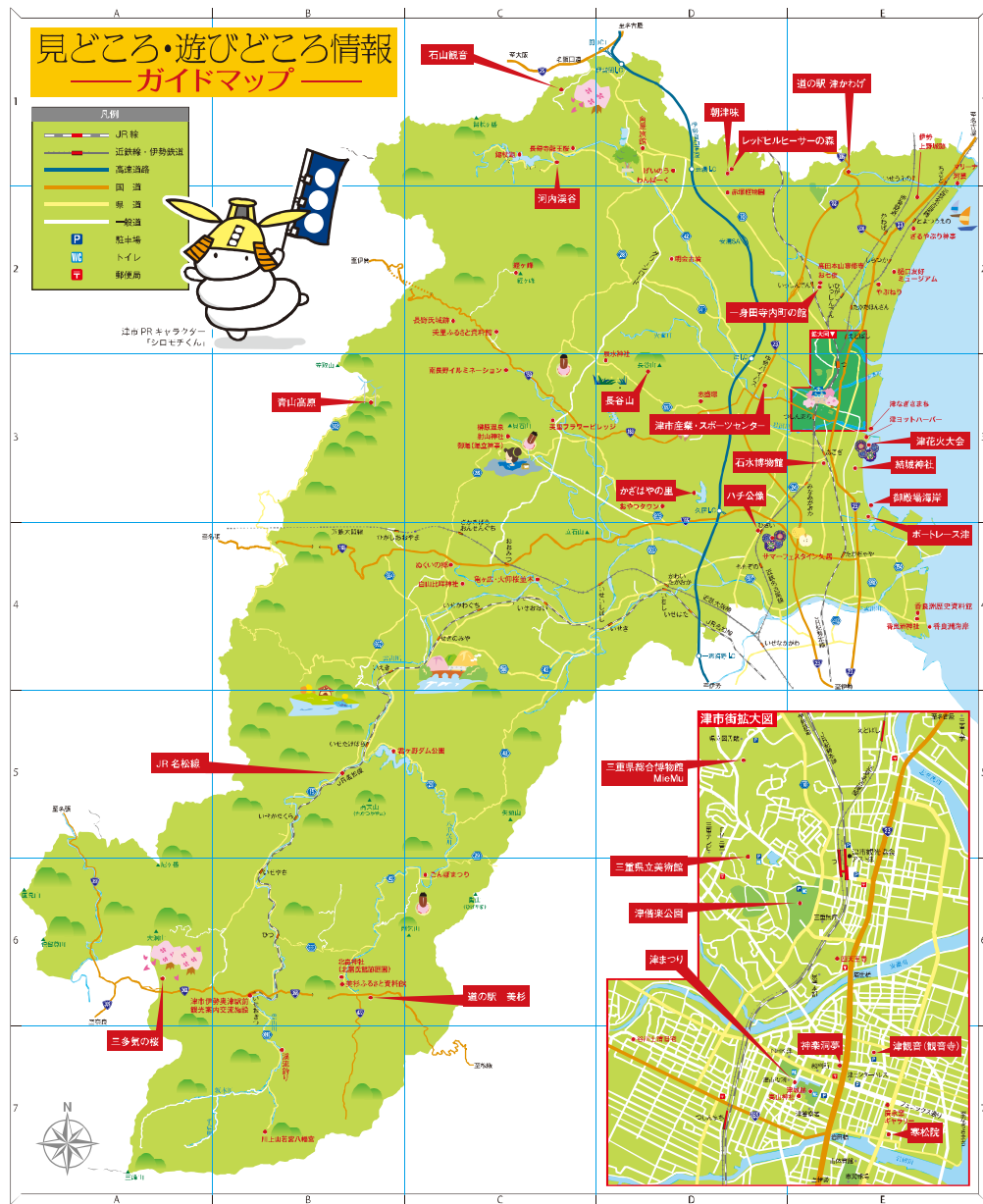


津トリビア 日本一!?のまち「津」

日本一短い地名「津」は「みなど」を意味する言葉で、日本で一番短い市町村名です。
JRや近鉄の駅表名「つ」は最も短く、「つ」に見え、写真スポットとしても人気を得ています。

（一社）津市観光協会
【津駅前観光案内所】

〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 アスト津1F
TEL:059-246-9020 FAX:059-221-0811
営業時間 10:00～18:00 休日/月曜日、年末年始

印刷：伊藤印刷株式会社 三重県津市大門 32-13 TEL:059-226-2545 <https://rio-pta.jp>
2021.03 22.000

津市観光ガイドブック

ダイジェスト版

Tourism Guidebook

QR Transator

- 日本語
- English
- 繁体中文

Take Free

国宝 高田本山専修寺

せんにん じょうし

如来堂・御影堂

平成29年11月28日、三重県内で初めて国宝建造物に指定！
高田本山専修寺は数多くの伽藍（がらん）が建ちならび、御影堂（みえいどう）は木造建築物として5番目の大きさを誇ります。国宝の西方指南抄などの法宝物も所蔵して現代に伝えます。
真宗高田派宗務院
TEL:059-232-4171

お伊勢さん湯ごりの地

榊原温泉

榊原温泉は千五百年以上からお湯が湧き、清少納言の枕草子に「ななくりの湯」と詠われた日本三名泉のひとつです。
伊勢神宮にお参りする前に心身を清める「湯ごりの地」としていにしえから多くの人々に親しまれてきました。
榊原温泉振興協会
三重県津市榊原町5824-1
TEL:059-252-0017

（続日本100名城選定）
平成29年4月6日（しらの日）
公益財団法人日本城郭協会により選定されました。

津城

津城は天正8年（1580）、織田信長の弟の織田信包（のぶかね）により築かれた平城。
慶長13年（1608）に入府した藤堂高虎により城と城下が一体的に整備され、津は伊勢街道の宿場町としても大いに賑わうようになりました。

（続日本100名城選定）
平成29年4月6日（しらの日）
公益財団法人日本城郭協会により選定されました。

多気北畠氏城館

築城者、年代ともに不明だが南北朝時代、南朝方の重臣北畠親房の三男で伊勢国司に任じられた顕能が築いたという説がある。
広大な館跡に現存する池泉回遊式の優雅な庭園が北畠氏の文化の香りを今に伝える。

東部 津市産業・スポーツセンター Map[D-3]



この施設は、新設の屋内スポーツ施設「サオリナ」「三重武道館」と三重県有数の規模を誇る既存施設のコンベンション施設「メッセウイング・みえ」で構成された、スポーツ施設とコンベンション施設が併設された、県内唯一の施設です。屋内スポーツ施設の名称は、津市出身の女子レスリング選手兼日本女子代表コーチであった吉田沙保里にちなみ、「サオリナ」と命名されています。☎059-223-4655

東部 津観音 Map[拡大図参照]



正称は「恵日山観音寺」、津の街の中心地にあり、古くから市民をはじめ、近郷の人々から「観音さん」と呼ばれて親しまれています。真言宗の寺院で、浅草・大須観音と並んで日本三観音の一つに数えられています。年中行事として「鬼燈祭」、節分会や十日観音などの行事に加え、所蔵する多くの貴重な文化財を津観音資料館が随時一般公開しています。☎059-225-4013

東部 寒松院 Map[拡大図参照]



この寺は、江戸初期には昌泉院といたが、二代藩主藤田高次公(たかつこう)が、藩祖高虎公の霊をまつようになつてから、高虎公の院号をとって寒松院というようになりました。それ以後、この寺は藩主の菩提寺として重きをなし、藩費で維持されました。

中部 石山観音公園 Map[C-1]



日本各地に残された観音仏の中でも比類なく美しさと規模の大きさを誇っています。山のすべりか、はぼりとつ石でできている岩山に、刻み込まれた見事な仏像の数々は、訪れる者に圧倒的な印象と感動を与えてくれます。石山の巨岩には弥陀如来・地藏菩薩・西国33ヶ所観音など、約40体余りの仏像を半円彫りに刻み出しているのは県下にもその例を見ない壮観さがあります。☎059-266-2510(津市津富総合支所 地域振興課)

博物館 資料館 石水博物館 Map[E-3]



江戸時代に伊勢商人の豪商であった川喜田家の旧蔵資料を中心として展示し、その分野は、茶道具、書画、洋画、古書典拠、錦絵、伊勢商人関係歴史資料など多岐にわたります。川喜田家の当主が代々蒐集してきたコレクションと陶芸家として知られる川喜田半平氏の名品の数々をお楽しみください。企画展も開催します。☎059-227-5677

博物館 資料館 一身田寺内町の館 Map[E-2]



町めぐりの拠点として「一身田寺内町の館」は、専修寺から徒歩2分。寺内町の歴史・文化を紹介した写真や復元模型を展示している他、無料のガイドマップ配布、そして無料ボランティアガイド同伴による散策ツアーを申し込み込むことができます。(10日前までに要予約) ☎059-233-6666

博物館 資料館 神楽洞夢 Map[拡大図参照]



岡三デジタルドームシアター「神楽洞夢」は、岡三証券グループ創業90周年事業の一環として2013年10月に竣工、翌年4月より本格稼働運用いたしましたUniview(ユニビュー)は、アメリカカリフォルニア自然博物館、スウェーデン(SCISS A33)・日本(株式会社オリアルムコンテクノロジー)の三力共同で開発されていた。最新鋭のインタラクティブな宇宙映像ソフトウェアです。☎059-221-3121

花と自然 結城神社(梅) Map[E-3]



結城神社は後醍醐天皇を奉じて「建武中興」の樹立に貢献した結城宗広公を祀っております。ここは古くから結城の森と伝えられ、結城塚とか結城明神とよばれてあがめられています。結城宗広公の立派な墓碑があり、華麗なしだれ梅でも有名です。☎059-228-4806

中部 河内溪谷 Map[C-1]



巨岩奇岩と清流が織りなす美しい溪谷。春は桜、秋は紅葉と、四季おりおりに美しさを、奏しきかせてくれます。紅葉の期間はライトアップもされます。☎059-266-2510(津市芸文総合支所地域振興課)

中部 久居駅前ハチ公像 Map[D-4]



淡路駅で有名な忠犬八公像、創り主である上野英三郎氏(久居元町出身)は東京帝国大学(現在の東京大学)の農学工学教授となりました。なお上野氏の墓は、久居元町の法善寺と東京・青山墓地の2ヶ所がありますが、青山墓地では上野氏の墓へ公共墓と称されていて、当時の美談は今もなお人々に伝えています。

南部 JR名松線 Map[B-5]



平成28年3月26日に完全復旧したJR名松線。幾度となく危機を乗り越えてきた「奇跡の名松線」。一志、白山、美杉の風光明媚な景色を味わいながらのんびりと楽しめるローカル線です。終点の伊勢奥津駅ではレンタサイクルや観光交差点施設もあり、ゆったりとした旅を満喫できます。

南部 青山高原 Map[B-3]



市内西部に南北約15kmにわたって位置する青山高原。夏は平地よりも4度ほど低く避暑地としても人気で、春はツツジ、秋はスギが見どころです。山頂付近には発電量国内最大規模の風力発電施設が立ち並び、眼下には伊勢湾を望むすばらしいロケーションが楽しめます。☎0595-52-4117

花と自然 津信楽公園(桜) Map[拡大図参照]



昔は「御山荘」(ごさんそう)、または「御山荘山」(ごさんそう)といわれていた。安政年間(1854~60)に別荘を設けたのが始まりです。信楽園の名は高松公の別荘からきています。自然の丘陵や谷の麓が十分に生かされ、春には桜や紫つじが咲きほころび、秋には紅葉等、公園に美しい彩りを添えます。☎059-226-1311(津信楽公園事務所)

花と自然 かざはりの里(梅・重・あじさい) Map[D-3]



かざはりの里は、障がい者の方と施設職員が園芸福祉に取り組み、梅650本・繡1,800本・あじさい75,000株を育てている全国で初めての「福祉と環境を融合した花苑」です。☎059-255-5755

花と自然 レッドヒルヒューサーの森 Map[D-1]



シャクナゲを中心に約1,000品種1万本以上の花木を楽しむことができる里山です。広さ約60,000㎡の園内には世界一のつばきの大木とよばれる「センペルセコイア」の大木が育ち、野山を駆けめぐる「森のエリア」と、ローズガーデンやスレンドの咲く地蔵の「花のエリア」があり、大自然の恵みを感じることができます。☎059-230-7789(売店)

花と自然 長谷山 Map[D-3]



津市美里町、安濃町、旧津市にまたがる標高320mの低い山ながら独立峰です。津市の中心市街地・海岸方面を望むことができ、北に鷺ヶ峰、南に青山高原・布引山がのぞいたりとなびきます。ウォーキングコースも多数あり、いずれもみたらから1時間程度で山頂にいたことから、市民から愛されています。

南部 三多気の桜 Map[A-6]



国道3号から南へ向かう山門に至る1.5km余の参道は、馬子頭にも歌われた山桜の名所。その桜並木は国の名勝に指定され、さくら名所百選にも選ばれています。4月には桜祭りなど、毎年大勢の観光客でにぎわいます。☎059-272-8085(津市美杉総合支所地域振興課)

津の海 御殿場海岸 Map[E-3]



日珍青森で有名な津の海は、県立自然公園に指定され約17キロに及ぶ連続した海岸線があり、春から夏のシーズン中は潮干狩りやたけぼし・海水浴などに大勢の家族連れが訪れます。4月には桜祭りなど、毎年大勢の観光客でにぎわいます。☎059-272-8085(津市美杉総合支所地域振興課)

津の海 津なぎさまち Map[E-3]



中部国際空港へのアクセスとくわで開港しました。高速船は朝6時~21時までほぼ毎時就航しており、約45分ですべての津に到着します。ターミナル横のベイシスには、レストラン等が入っており、海を見ながらのお食事を楽しめます。☎059-213-6582

津の海 ポートレース津 Map[E-3]



ひとさびとをひく津船が、1艘から4艘まで、どこからでも出入りができる貝殻模様の多目的競艇ホール、ツッキードーム。客席数は673席。正面に据え付けられた36面マルチビジョンでは、リアルタイムでレースの様子が映し出されます。日本初設のポートレース場で1952年に誕生しました。☎059-224-5105(津市ポートレース事業部)

津の海 津花火大会 Map[E-3]



大正時代から続く津の夏の風物詩です。見ものは、海を舞台に繰り広げられる海上花火です。疾走する船から次々と花火玉を海中に投げ込み、孔雀が一斉に羽を広げた華やかな姿を演出します。☎059-229-3234(津市花火実行委員会(津市観光振興課内))

祭り 津まつり Map[拡大図参照]



能武者が市中を練り歩く高虎時代行列をはじめ、約380年の歴史を持つ唐人踊り、しゃこ馬、八幡獅子舞などの伝統的な祭りが繰り出されます。また、国内外からチームが参加する安濃津よさでいは、毎年参加者・観客とも増加している人気イベント。お城西公園を中心に、津まつり会場で熱い演奏を見ることがあります。☎059-229-3234(津まつり実行委員会(津市観光振興課内))

博物館 資料館 三重県総合博物館 MieMu Map[拡大図参照]



自然科学標本や県内各地から出土された考古品、祭生式のつばねなどが保管されています。さらに裏庭には「鳥居古墳」が復元されていて、石室のある古墳の様子を見ることができます。企画展示や基本展示、イベントなど年間通じて楽しむことができます。☎059-228-2283

博物館 資料館 三重県立美術館 Map[拡大図参照]



常設展示は年間4期に分けて、日本近代絵画を中心に、現代に至る美術の流れを系統的に捉えることを目指しています。また企画展展示では、独自のテーマによる自主企画展を催すとともに、より広い観点での共同企画展を行っています。☎059-227-2100

津のグルメお土産

■津ぎょうざ

津市の学校給食から生まれたご当地グルメです。直径15cmの大きな皮で包んで揚げたぎょうざです。で、どこからでも出入りができる貝殻模様の多目的競艇ホール、ツッキードーム。客席数は673席。正面に据え付けられた36面マルチビジョンでは、リアルタイムでレースの様子が映し出されます。日本初設のポートレース場で1952年に誕生しました。☎059-224-5105(津市ポートレース事業部)

■いちご大福

津市の名物として有名ないちご大福は津市内の銘菓で多数取り扱っています。

■梨

久居・香良洲地域に立ち並ぶ生産直売所は夏の風物詩となっています。

■天むす

先代天むすが忙い夫のために、栄養ある津えびの天ぷらを切っておむすびの中に入れてから生まれた天むすは、津市発祥の名物です。

■うなぎ

年間消費量が日本一になったこともあって津市民に愛されている「津のうなぎ」。関西風のウナギのあるうなぎ料理を楽しむことができます。

■ベビースターラーメン(おやつカンパニー)

津市に本社と工場があるおやつカンパニーは味や価格だけでなく、発想ののびやかで多くのちびっ子たちに支持されています。

■みそかつ

名古屋の「みそ」の強い味かつですが、洋食屋の味噌カツとして1965年にカインドコックの家族料理で生まれました。

■ブラックカレー

老舗洋食店の東洋軒のブラックカレーは松坂牛を使用した、世にも珍しい「真っ黒なカレー」です。

■蜂蜜まん

焼き立てをほおばると皮はパリッ、中のこしはあんずアツ、そしてほんのり蜂蜜の風味が広がります。

■道の駅 美杉 Map[B-6]

人に優しい木造建築「バリアフリー」の道の駅です。美杉材の販売、展示、美杉地蔵の特産品の販売を行うほか、各種食事、フットリウムなども楽しめます。国道368号や伊勢本街道、森林セラピーコース、北品神社などを利用する観光客の憩いの場として活用されています。☎059-275-0399

■道の駅 津かわげ Map[E-1]

平成28年4月24日開業した道の駅です。道のもの、山のもの、津のものがすべてそろった便利なスポットです。☎059-244-2755

■朝津味 Map[D-1]

2016年7月にオープンした。地元の新鮮で美味しいお野菜や果物が並ぶ農産物直売所です。また、四季折々の花や珍しい植物が提供される園芸売場などもあり、隣接している栽培見本農場「レッドヒルヒューサーの森」も見所の一つとなっています。☎059-230-8701